

コベルコ地域社会貢献基金

2024年度の取組み紹介

コベルコ地域社会貢献基金は、神戸製鋼の創業100周年を記念して創設され、2024年度で19年目を迎えました。今回も未来を担う子どもたちを支援するため、15の事業所（グループ会社を含む）が子育て関連施設や団体に、遊具や学習道具を寄贈しました。この活動は、グループ企業理念「KOBELCOの6つの誓い」の1つである「地域社会との共生」を具現化するものです。2024年度の取組みについて、各事業所・各社から寄せられた支援先の声や事業所からのコメントを紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



コベルコ地域社会貢献基金の活動は、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標10「人や国の不平等をなくそう」の実現にもつながっています。

神戸製鋼・福知山工場

特定非営利活動法人へプロジェクターやデジカメ、ダイニングチェア、非常食を寄贈

【支援先より】子どもたちはダイニングチェアの脚に保護シールを貼ったり、プロジェクターを使って動画を見ながら防災訓練を行うなど、いろいろと活用させていただいています。



神戸製鋼・西条工場

保育所へ木製キッチンセット、テーブル、パーテーションなどを寄贈

【支援先より】いただいた“ままごとセット”で子どもたちは毎日楽しんでます。木製のレンジやガスコンロで料理をしたり、友だちと役割を決めて遊んだり、とても楽しそうに過ごしています。大切に使用させていただきます。



神戸製鋼・藤沢事業所

子育て支援センターへ平均台、大型絵本、玩具類を寄贈

【支援先より】新しい玩具は、子どもたちはもちろん、保護者からもとても好評でした。心から感謝しています。



神戸製鋼・長府製造所

総合支援学校へ、点字タイプライター、視力検査キット、手で見える算数教具等を寄贈

総合支援学校では、支援が必要な子どもたちが使用する教材は高額で、なかなか購入することができないそうです。今回の寄贈により、貴重な教材を楽しく利用できるようになり、大変喜ばれました。たくさんの子どもたちにこの教材を活用してもらい、健康で楽しい学校生活を送っていただけることを願っています。
(総務室 崎原 成美)



神戸製鋼・大安製造所

保育園へ離乳食等の調理器具を寄贈

【支援先より】これまで園児の月齢に応じた食事を全て手作業で提供していましたが、他市で発生したノド詰まりなどの給食事故を受けて、対策を検討していました。そんな時に、より安全に食事提供ができる



離乳食等の調理器具を寄贈いただき、大変助かっています。

神戸製鋼・真岡製造所

小学校の図書館へ書籍を寄贈

【支援先より】図書館で普段から子どもたちがよく利用したり、探したりしていることが多い「乗り物」と「環境」に関する書籍を購入しました。子どもたちの調べもの学習や、社会科見学、総合学習などの際にもよく活用され、子どもたちの読書活動推進につながっています。



神戸製鋼・神戸線条工場

【灘区】子どもの居場所づくりに取り組む団体へ鍋、大型絵本、紙芝居、絵具等を寄贈
【東灘区】子ども食堂・子どもの居場所づくりに取り組む団体へ冷凍庫、炊飯器、事務デスク等を寄贈

【支援先より】当団体の活動にご支援いただき、誠にありがとうございました。地域の子どもの居場所としての活動に必要な物品を購入させていただき、とても役立っています。



神戸製鋼・神戸本社

箱庭療法用具一式を寄贈。母子生活支援施設へポータブル電源、災害用・非常用トイレを寄贈

【支援先より】箱庭療法は、砂の入った箱に玩具を自由に配置して心の内面を表現する心理療法です。用具が追加されたことで表現の幅が広がり、頻度が上がることで子どもたちの世界観がより豊かに表現され、心理士から見てもその効果が高まっているように感じます。



神戸製鋼・神戸総合技術研究所

保育所へ絵本や玩具を寄贈

保育所へ絵本や紙芝居などを寄贈し、子どもたちに大人気になっているそうです。3月に行われた贈呈式では子どもたちが「ありがとうの歌」を歌ってくれました。
(総務室 西島 太郎)



神鋼機器工業

子ども食堂へ椅子、ベンチ、棚を寄贈

【支援先より】いただいたベンチが珍しく、多くの子どもたちが集まりました。これからたくさん使わせていただきます。子どもたちの困りごとが見えにくくなっている中で、触れ合う時間を大切に、声をかけたり見守ったりできる場所をみんなで作っていきたく思います。



神鋼造機

児童通所支援施設へ木製遊具を寄贈

ことばや発達に遅れのある乳幼児から学童の子どもを対象とした児童通所支援施設を選定し、通所する児童の固有感覚、運動能力、思考力の発達を促すための木製遊具を寄贈しました。(総務室 山田 杏奈)

【支援先より】新しい遊具に喜び、楽しく遊ぶ姿が見られ、発達を促す上で貴重な養育用品となりました。



コベルコ・コンプレッサ

ボランティア団体へ環境教育資料等の印刷費、材料費を支援。障がい児支援団体へイベント実施活動費、材料費、印刷費を支援

障がい児支援団体では、播磨町の住民が参加してコミュニケーションや思い出づくりを提供できる活動として「光のプロムナード」や「キャンドルホルダー作り」の交流イベントを実施されました。参加した家族からは「楽しめて良かったです」という感想が寄せられたようです。(播磨総務部 春 文吉)



神戸製鋼・茨木工場

保育園へ「カムダウンルーム」(落ちつきルーム)を寄贈

発達障がいや自閉症傾向の子どもたちが、集団や騒音が原因で一時的に感情が高ぶった際に、落ちつける空間として「カムダウンルーム」を保育園へ寄贈しました。このルームは子どもたちにとって、一時的に落ち着ける居場所となり、楽しく安心して過ごさせているそうです。(総務室 坂田 匡史)



神戸製鋼・高砂製作所

こども園へ遊具一式を寄贈

100年近い歴史のある保育園にプレイクッション、園児用のテーブル等を寄贈しました。備品や設備の老朽化が進んでいたことから、安全・安心な保育にご活用いただいています。また、動物型の屋外遊具を寄贈した園では順番待ちをする園児も多く、園庭で人気になっているようです。(総務室 原 久幸)



神戸製鋼・加古川製鉄所

育児保健課へセラピーマット、毛布、幼児用机、幼児用椅子を寄贈

【支援先より】子どもたちが安全で楽しく屋内遊びができるように、セラピーマットをいただきました。親子教室でお披露目したところ、子どもたちは大喜びで寝転んだり、全身を使って元気いっぱい体操やサーキット遊びをしたりしていました。大切に使用させていただきます。



KOBELCOグループが取り組むCSR活動を紹介している「KOBELCOのネオハルアクション」もぜひご覧ください。

<https://neoharu.kobelco.co.jp/>